

教科シラバス（地歴科）

科目名	地理総合	履修学年	履修単位	履修形態	授業形態
		2	2	必履修	一斉
使用教科書・副教材・準備物					
高等学校新地理総合（帝国書院）・新詳高等地理（帝国書院）					
科目の概要			学習目標		
<p>現代世界の世界的知識を深め、系統地理的、地誌的な探求の方法を学ぶ学習を通して、地理的な見方や考え方や地理的技能を身に付ける。また地図帳の利用の仕方等を身に付け、地球的視野から現代社会の諸課題について主体的に考え、行動する自覚と態度を養うことがこの科目の基本的性格である。</p>			<ul style="list-style-type: none"> ・世界の生活文化の多様性や、防災、地球的課題への取り組みなどを理解する。 ・地図や地理情報システムなどを用いて、地理的な見方・考え方など地理的技能を身に付ける。 ・地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追及、解決しようとする態度を養う。 		
年間学習プログラム					
	学習内容	学習のねらい			
1学期	<p>第1部 地図でとらえる現代世界</p> <p>第1章 地図と地理情報システム</p> <p>1節 地球上の位置と時差</p> <p>2節 地図の役割と種類</p> <p>第2章 結びつきを深める現代世界</p> <p>1節 現代世界の国家と領域</p> <p>2節 グローバル化する世界</p> <p>第2部 社会のしくみと諸課題</p> <p>第1章 生活文化の多様性と国際理解</p> <p>1節 世界の地形と人々の生活</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地軸の傾きや自転・公転による影響を理解する。また、時差の影響やそれに対する工夫を考える。 ・地図の種類や種類に応じた用途の多様性を考える。 ・国家の領域や国家の定義をふまえ、日本の位置や領域の特徴について理解する。 ・グローバル化に伴う貿易や交通、通信、観光など世界を結びつける要素の特徴を理解する。 ・地球上の多様な地形や気候が、人々の生活とどのように関わりあっているのかを理解する。 			
2学期	<p>2節 世界の気候と人々の生活</p> <p>3節 世界の言語・宗教と人々の生活</p> <p>4節 歴史的背景と人々の生活</p> <p>5節 世界の産業と人々の生活</p> <p>第2章 地理的課題と国際協力</p> <p>1節 複雑に絡み合う地球的課題</p> <p>2節 地球環境問題</p> <p>3節 資源・エネルギー問題</p> <p>4節 人口問題</p> <p>5節 食料問題</p> <p>6節 都市・居住問題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・世界には日本とは異なる言語を話す民族やさまざまな宗教が存在することを理解する。 ・世界各地の多様な環境のもとで育まれ変化してきた歴史的背景を理解し、人々の生活に与えてきた影響を考える。 ・産業の発展は人々の生活にどのような影響を与えてきたか、また産業のグローバル化によって人々の生活はどのように変化してきたのかを理解する。 ・地球規模で取り組むべき課題が相互に関連しあっていることを理解し、持続可能な開発のための解決法を考える。 			
3学期	<p>第3部 持続可能な地域づくりとわたしたち</p> <p>第1章 自然環境と防災</p> <p>1節 日本の自然環境</p> <p>2節 地震・津波と防災</p> <p>3節 火山災害と防災</p> <p>4節 気象災害と防災</p> <p>第2章 生活圏の調査と地域の展望</p> <p>1節 生活圏の調査と地域の展望</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人間と自然の関わりや地域の特徴に着目して、地震や津波、火山の噴火、熱帯低気圧などの自然災害に強い地域づくりについて考える。 ・持続可能な地域社会をつくるために、わたしたちはどのようなことに取り組めばよいかを考える。 			
評価の観点及び内容					
知識・技能	<p>現代世界の地理的事象についての基本的な事柄や追及の方法を理解し、その知識を身につけているか。また、諸資料を収集し、有用な情報を選択・活用することを通して現代世界の地理的事象を追及、探求しながら課題を主体的に解決しようとしているか。</p>	主体的に学習に取り組む態度	<p>現代世界の地理的事象に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追及するとともに、国際社会に主体的に生きる日本人としての姿勢を打ち出そうとしているか。</p>		
思考・判断・表現	<p>現代世界の地理的事象から課題を見だし、それらを系統地理的、地誌的にまた、日本人として考察するとともに、世界の変化を踏まえながら、自らの意見、考えを表現しようとしているか。</p>				
評価方法及びその他留意事項					
定期考査、学習態度、課題、ノート・レポート提出を含め上記3つの観点から総合的に評価する。					